

知恩

第36号

目 次

I 定時総会の開催	2ページ
II 定時総会資料	6 "
III 講演会の開催	8 "



祇園寺境内



年々歳々の枝垂桜

水戸殉難者恩光碑保存会
(大森信明会長)の令和7
年度定時総会が、3月29日
日(土)、水戸市八幡町の
壽昌山祇園寺において開催
されました。

小雨が小止みとなった境内に
間もなく満開を迎える枝垂桜が
静かながら明るい風情を見せ
ていました。

総会の概要は2ページから、
資料は6ページからご覧ください。



定時総会ご参加の皆様

I 令和7年度定時総会の開催

定時総会は午後1時から、会員及び来賓の方々30人以上のご参加により開催されました。

大森会長あいさつ

本日は高橋市長、福島衆議院議員を初め、多くの方に参加いただき総会が出来ますこと、感謝いたします。

水戸殉難者恩光碑保存会は、平成18年の設立以来今年で20年目を迎えました。

以来、恩光無辺の碑、千葉県匝瑳市の慰霊碑、新潟県灰爪の慰霊碑、会津若松の慰霊碑で慰霊法要を行ってまいりました。

この間、水戸市からは、諸生党の史実も水戸の歴史として平等に扱うとの見解をいただき、諸生党は復権出来たと考えます。本会も充分意義のある活動が出来たと考えます。

これからですが、まずはこれまで通り、恩光碑、匝瑳市、新潟県灰爪、会津若松での慰霊をしっかり行って参ります。

それから私が気にしていることは、水戸の総括が出来ていないことです。出来れば天狗党側と歩み寄りたい。そのためには、水戸市、幕末維新水戸有志を偲ぶ会と力を合わせて活動して行きたいと考えます。

以上私の挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。



大森会長

続いて、福島伸享衆議院議員、岡田広元参議院議員からご挨拶をいただきました。



福島伸享衆議院議員



岡田広元参議院議員

また今回の定時総会には、高橋靖水戸市長のご出席をいただきました。

高橋市長からは、

水戸市が他の自治体とともに、近代日本の教育遺産の「世界遺産登録」を目指していること等のご紹介をいただきながら、

水戸殉難者恩光碑保存会が郷土の先人を偲び、長年にわたって慰靈や顕彰に取り組んでいること。

水戸は幕末に激しい争いを繰り広げ、多くの逸材を失った史実を有している。令和の今日では、当時の悲劇を乗り越え、末裔が手を組んで歴史を総括していくことが、水戸の発展につながるのではないかと考えていること。

また歴史を通じて得た匝瑳市ほかの自治体との友好関係は水戸市にとって大きな財産であること。

人材育成を図りながら、水戸の歴史を後世に伝える責任を果たしていきたい 旨のご挨拶をいただきました。

(※高橋市長のメッセージが、「高橋やすしオフィシャルブログ 2025-03-29 [令和6年度水戸殉難者恩光碑保存会総会](#)」に掲載されています。)



高橋靖水戸市長からご挨拶

次に、水戸市議会から後藤通子議員、渡邊欽也議員、また、茨城県近現代史研究会名誉会長市村眞一先生及び「幕末維新水戸有志を偲ぶ会」(栗原邦俊会長)の唐笠實事務局長のご挨拶をいただきました。そのほかご来賓の皆様をご紹介して議事に入りました。



後藤通子議員



渡邊欽也議員



茨城県近現代史研究会
市村眞一名誉会長



幕末維新水戸有志を偲ぶ会
唐笠實事務局長



来賓の皆様



○議事

大森会長から、

1. 2024年の活動経緯の報告 及び
 2. 2025年行事の計画等 について、報告及び説明がありました。
- 概要は以下のとおりです。詳しくは総会資料をご覧ください。



議案について説明する大森会長



1. 2024(令和6)年活動経緯の報告

- ①総会を3月24日(日)に実施。市村眞一先生ご講演
- ②大田原・常陸大宮方面研修旅行……6/15(土) 恩光碑保存会としては初めての実施
- ③祇園寺法要 ……………… 10/13(日)、新型コロナで順延後、5年振りに実施
- ④会報「知恩」第34号、第35号の発行

2. 2025(令和7)年活動計画について

- ①総会の実施(2025年3月29日(土)) 市村眞一先生ご講演
- ②会報「知恩」の発行 (2回予定)
- ③水戸市近郊の史跡紹介 …… 6/14(土)で計画中。
マイクロバス、参加費5000円。5月初めに案内の予定です。
- ④東臯忌(祇園寺ご開祖様命日の法要) 9月30日
- ⑤2026年行事について 新潟方面の研修旅行を計画中

続いて事務局から、

2024(令和6)年度決算報告、監査報告及び2025(令和7)年度予算案について報告がありました。



決算報告等



監査報告

2024(令和6)年度決算は、監事から、帳票・書面等監査の結果、適正である旨、監査報告がなされました。

続く2025(令和7)年度予算案については、活動計画に基づき実施する慰靈旅行等に伴う事業費を計上する旨の提案がなされました。

以上の議案について採決したところ、全会一致をもって可決されました。
6~8ページに総会資料を掲載しておりますので、ご確認ください。



審議は順調に進行されました



総会での審議の様子

II 総会資料

2025年 水戸殉難者恩光碑保存会 総会資料

2025.3.29 会長 大森信明

1. 2024年の活動報告

①総会 2024.3.24(日)実施。

市村眞一先生講演「茨城県出身の唯一の現役陸軍大将は諸生派」

②大田原・常陸大宮方面研修旅行 2024.6.15(土)実施

恩光碑保存会として初めて、大田原にある2ヶ所の慰霊碑を参拝。加えて、蒼泉寺・結城寅寿の墓、野口郷校跡、照顧寺・薄井友右衛門ゆかりの寺、鱗勝寺・寺門登一郎の墓、長者荘・市毛善八郎の碑を訪問した。25名の方に参加いただき、大盛況であった。

③祇園寺法要 2024.10.13(日)、新型コロナで順延となった影響で5年振りに実施。

市村眞一先生講演「画聖・横山大観と角聖・常陸山の親は諸生派」を実施。

④会報発行：2回（第34号：2024.5.12発行、第35号：2024.11.17発行）

2. 2025年の行事計画

①総会（2025.3.29）

②会報発行：2回（春、秋）

③水戸市近郊の史跡紹介 6/14（土）で計画中。マイクロバス、参加費5000円。
5月初めに案内の予定。

	訪問先（案）	訪問先について
1	神応寺 慷慨淋漓（こうがいりんり）の碑・拓本拝見	明治17年、弘道館戦争17回忌の際、元会津藩主・松平容保公が篆額を書かれた諸生党藩士の慰霊碑。石碑は第二次大戦の水戸空襲により崩壊したが、拓本が現存。碑拓本附台石は平成27年2月、水戸市指定文化財（歴史資料）に指定。
2	長岡原刑場跡（吉澤町）	市川三左衛門らが磔となった刑場跡を参拝する。 ※長岡原刑場は、長岡ではなく吉澤町。
3	赤沼獄舎跡（東台）	幕末、諸生・天狗双方の多数の血が流された。
4	願入寺（大洗）	諸生党決起の地。天狗党の筑波山挙兵に対抗し、内藤弥太夫、弘道館諸生が願入寺で決起した。
5	酒門共有墓地紹介 朝比奈知泉先生墓参	常磐共有墓地と共に光圀公が開いた藩士の墓所。主に下市の藩士が埋葬された。常陸山、戸田忠太夫、朝比奈知泉らの墓がある。
6	常磐共有墓地紹介	酒門共有墓地と共に光圀公が開いた藩士の墓所で、主に上市の藩士を埋葬。恩光無辺の碑と対になる、天狗党の慰霊碑がある。安積滄泊や藤田幽谷・東湖父子、豊田天功らの墓がある。

④東臯忌（祇園寺ご開祖様命日の法要） 9月30日

- ・祇園寺は、市川三左衛門、朝比奈弥太郎など、諸生党藩士の墓が多くある、戊辰戦争で親を失った朝比奈知泉先生が預けられ、明治期を代表する新聞記者に成長した、恩光無辺の碑も境内に建立されているなど、諸生党と関係が深い。こういったご縁もあり、祇園寺のご開祖様、東臯心越禅師のご命日の法要（毎年9月30日）に保存会として参列することとする（主に水戸在住の役員が参加）。

⑤2026年行事について 新潟方面の研修旅行を計画中

- ・2026年は新潟方面の研修旅行を計画中。灰爪の史跡参拝に加え、北越戦争全般をテーマに、訪問先を検討する。

以上

2024年度決算報告、監査報告 及び 2025年度予算

①2024年度 決算報告

2024年度	収支決算報告	2024/1/1～ 2024/12/31	単位・円
--------	--------	-------------------------	------

収入の部				支出の部			
科目	金額	内訳	摘要	科目	金額	内訳	摘要
前期繰越	765,798			慰靈旅行費	285,305	バス会社支払156,305	
年度会費	126,000	前年比105%		会議費	7,087	ペット茶	
寄付金	66,000	10名		事務費	8,915	サーバー利用料等	
灰爪寄付金	110,000			涉外費	17,315	慰靈旅行土産代等	
雑収入	344	受取利子等		資料費	6,868	写真代等	
総会費	40,000	総会事前準備費		通信費	57,534	切手・ハガキ・封筒等	
慰靈旅行会費	225,000	徴収会費125,000		灰爪寄付金	60,000	定額寄付	
法要費	340,000	法要事前準備費・会費		振込料	786		
				法要費	425,500	事前準備費・お布施・弁当代等	
				総会費	64,000	祇園寺会場費・講師薄謝等	
合計	1,673,142			合計	933,310		

2024年度	収入	支出	次年度繰越金
	¥1,673,142	－	¥739,832

2024年度 収支決算を 上記のとおり報告致します

2024.12.31

水戸殉難者恩光碑保存会

会長 大森信明

印

事務会計 門井孝廣

印

②2024年度 監査報告

監査報告

監査の結果、帳票・決算書とも適正であることを認めます

2025年3月29日

監事 成田行弘

印

監事 大森信樹

印

③2025年度 予算

収支予算

2025/1/1～2025/12/31

単位・円

収入の部				支出の部			
科目	金額	内訳	摘要	科目	金額	内訳	摘要
前期繰越	739,832			総会費	10,000	総会会場費用	
年度会費	126,000	前年比100%		慰霊旅行費	250,000		
慰霊旅行費	250,000			会議費	30,000		
				雑費	50,000	2026年慰霊旅行調査費含	
				事務費	10,000		
				涉外費	15,000		
				資料費	11,000		
				通信費	61,000		
				灰爪寄付金	60,000		
				予備費	618,832		
合計	1,115,832			合計	1,115,832		

以上

Ⅲ 市村眞一先生講演

○議事終了後、市村眞一先生(茨城県近現代史研究会名誉会長)のご講演をいただきました。

「九代藩主斉昭の陰謀」では、徳川斉昭が、本人自ら身分を偽って結城寅寿失脚のための策謀を巡らせたという驚くべき内容のご説明がありました。

このような策謀を、親しい宇和島藩主に話していたために現代まで記録が残っているというところに、歴史資料の貴重性や重要性と同時に、歴史上の人物像については、当然ながら多角的な観点から見る必要性を、改めて感じました。



茨城県近現代史研究会名誉会長 市村眞一先生

「九代藩主斉昭の陰謀」レジュメ

2025.3.29

1. 斎昭に幕府が謹慎命令

弘化元年（1844）5月、幕府は斎昭に謹慎を命ずる。斎昭が行った天保の改革を問題視したからだ。しかし、幕府は少し前に「天保の改革」を称賛していた。一転、問題視したこと、同時に斎昭の腹心である改革派の藤田東湖らを次々に処罰し、一方で保守派の家老結城寅寿は処分しなかったことから、斎昭は幕府と結城ら保守派が結託して斎昭と改革派を失脚させたと激怒。

2. 斎昭が豪商に成ります（宇和島藩所蔵「水戸一件」より）

斎昭は、自ら豪商「紙屋長兵衛」と成りますし、腹心を「番頭」に仕立てて、寅寿の家人である庄兵衛をターゲットに「番頭」を近づけさせる。「番頭」は主人の紙屋長兵衛を水戸藩の御用商人にすれば、多額の賄賂を寅寿に贈ると誘いをかける。庄兵衛は、寅寿に伝えるが、寅寿は改革派の罷と警戒する。しかし、まるめこまれた庄兵衛が何度も「番頭」に賄賂の話を吹き込まれ、寅寿も「番頭」に会い、高価な品を渡されると、話に乗る。

その間、「番頭」は斎昭の指示を受けて庄兵衛から寅寿が斎昭を失脚させる話を聞き取り、弘化3年2月、そのことを文書にして庄兵衛の血判を押させることに成功。斎昭は、寅寿の本心を認めた証拠を得たことで、交渉を止める。たまたま江戸が大火に見舞われたことから、「紙屋長兵衛」が焼死したことにする。寅寿は、「番頭」に悔やみの書状を送る。

3. 庄兵衛を宇和島藩に預ける

斎昭は、庄兵衛が寝返ることや寅寿に捕まることを恐れて、親しくしている宇和島藩主伊達宗城に庄兵衛をしばらく置ってほしいと依頼。宗城も了承する。庄兵衛は斎昭の配下で剣客の菊池為三郎に伴われて、弘化4年7月、四国の宇和島藩に入り、約8年に及ぶ潜伏生活に入る。この間の事情を宗城が斎昭から聞き取り「水戸一件」として残す。

4. 寅寿失脚

弘化2年11月、謹慎を解かれた斎昭は上記のような陰謀を自ら演じて、寅寿の本心を探り出すことに成功すると、まもなく寅寿を家老から降格させ、嘉永6年（1853）江戸から水戸に戻す。斎昭の腹心たちは寅寿を死刑にすべきと主張するが、藤田東湖が藩の刑法に従うべきであり、死刑にすべきではないと諫める。ところが、安政2年（1855）10月の大地震で東湖が藩邸で圧死すると歯止めする者はなく、寅寿は翌年4月、幽閉先の御前山の松平陣屋で処刑される。菊池は同年9月に帰藩が命じられた。

5. 庄兵衛のその後

庄兵衛は下国井村の出身で、村には妻子がいたが、彼らを残して宇和島に行く。そして宇和島で新たに結婚し、寅寿が処刑されたあと、京都の水戸藩邸の門番に採用され、再婚した相手とともに京都に行く。その後の消息は不明。

6. その他

「歴史アドバイザー水戸」、昨年11月に遺族以外で初めて匝瑳市を訪問。

※本会のホームページのURLです
ぜひご覧ください

<https://onkouhi.site/>



- ★編集後記
- ・6月14日（土）で計画中の水戸市近郊の史跡紹介の行事は、現在日程等の調整を進めています。マイクロバス使用予定で日程的に無理のないコースを調整中ですので、皆様の参加をお待ちしています。
 - ・今年も、新会員が入会されています。
- 皆様のご家庭におかれましても、本会の意義について若い方に伝えていただき、会員数の維持・増加に向けてご協力をお願いします。（樹）

知恩第36号

発行日

2025年(令和7年)5月10日

発行所

水戸殉難者恩光碑保存会

発行人

大森信明

作 成

事務局編集委員会